

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この号が出る頃には、新春1月ももう終盤に入る頃でしょう。まだ厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年から導入された「マイナンバー」や、平成29年4月から実施される消費税率10パーセントへの引き上げ（食品の2%を購入後に消費者へ戻す「還付制

度」導入）等々、私たちの生活に様々な変化が起ころうとしております。いろいろ事情もあるのですが、仕事柄どうしても高齢者の方々のことを思い、いたたまれなくなります。

高齢者の皆様にとりましては、決して「優しくない」法改正に、相当戸惑っているのではないのでしょうか？若い頃から、家族の為に、日本のために、一生懸命に毎日の生活と闘ってこられた方々。そういう方々が安心して生活を送れる世の中でなければならぬと、私は常に考えております。

新たな気持ちで、今年も一年よろしくお願い申し上げます。

サンライズの物語

ご利用者様を支えていると思いつつ、
実は「支えられている」私たち・・・
やさしさに触れ、涙し、襟を正すことを
肝に銘じたお話

その方は、自立支援法で関わった方でしたが、とても気さくで、事務所に良く来ては色々な話をされていた方でした。若い頃はとてもやんちゃで、その方の武勇伝を良く話されておりました。その方のお人柄でしょうが、いつも「あけみ、あけみ」と名前でお呼んで下さった方でした。

私が介護福祉士を受験したときのこと。「受かったと分かったら必ず俺に連絡しろよ」と約束してはありましたが、発表の当日、その方から突然連絡がありました。いわく「受かったのか？」と。

私が「分かりました」と答えると、何と事務所にケーキを持参して下さいました！それもケーキのプレートに「あけみ合格おめでとう」と書かれていたのです・・・

その方は、松葉杖なくては歩行も困難な方でした。

そんな不自由なお身体で、わざわざケーキをぶら下げて来て下さったのです。

そんな温かい気持ちに、私は思わず涙が零れてしまいました。

ご利用者様の温かいお気持ちに触れる度に、介護職としての自分自身に問いかけます。それほどのことを、果たして自分はできているのか、してきたのかと。

私たちは、ご利用者様を「支援」させていただいてはおりますが、実は逆に「支えていただいております。そういう気持ちに気づかせてくれたこと、感謝に堪えません。

ひとつひとつの出会いを大切にさせて頂き、これからもご利用者様のお気持ちに寄り添える介護を目指していかねばならないと心に決め、襟を正していく所存でございます。



「介護現場で使える コミュニケーション便利帖」

本当に使える「言葉がけ」技法が満載！認知症の人への「コミュニケーション技術」も丁寧に解説している本です。「今の介護現場」を知り尽くす著者が、現場で培った使えるコミュニケーションのノウハウを伝授。「ユマニチュード」「バリデーション」といったプラスαのメソッドも学べます。

【本書の特徴】

- ・状況に応じた対応技法が時系列にそって学べる
例：(1)食事をしたがる→(2)食べない「理由」を考える→(3)理由ごとの行動・声掛け
- ・認知症の人との円滑な関わり方や注意点を詳しく解説
- ・[食事][排泄][入浴][レク][わがまま]など場面ごとの実践的な対応が、見開き2ページでひと目でわかる
- ・新しい理論やメソッドを用いた、一歩先を行く実践的なケアも紹介



著者：尾渡順子
（社会福祉法人興寿会 教育実践研修センター 所長代理）
／翔泳社刊

NEWS 今月のニュース

志木市「見守りステッカー」 徘徊者の家族に配布

志木市は、徘徊（はいかい）する認知症高齢者の早期発見、保護に役立つステッカーの配布を始めた。名付けて「見守りSOSステッカー」。認知症になっても住み慣れた地域で生活できるように、家族への支援の一環。

ステッカーは縦25ミリ、横40ミリとコンパクトで、県のマスコット「コバトン」が目印。アイロンやドライヤーで、服や靴、鞆などの布、皮、合皮に簡単に熱圧着できる。洗濯や汗に強い耐久性の高い素材で、反射素材のため夜間も目立つのが特徴だ。

ステッカーを目にした人が携帯電話でQRコードを読み取ると、市役所担当課の電話番号や、高齢

者あんしん相談センターの連絡先が表示される仕組み。要介護認定を受け、徘徊症状のある高齢者の家族などからの申請で、高齢者1人につき10枚を無料交付する。



ステッカー表面に「認知症」という文字を使用せず、個人の尊厳やデザインに工夫を凝らしている。市高齢者ふれあい課は「電話番号も表記していない。見た人が何のステッカーか分かるように、市民にPRを徹底していきたい。コバトンを選んだのは、市内だけでなく近隣や県域にネットワークを広げたいという思いから」と話している。

< 埼玉新聞 2016年1月6日(水) >

今月の 名言

リーダーは、常に謙虚でなければならない。
謙虚なリーダーだけが、協調性のある集団を築き、
その集団を調和のとれた永続する成功に導くことができる。

稲盛和夫（京セラ・第二電電創業者）

京セラを世界的な会社に築き上げた名経営者。近年では、一度破たんした日本航空を見事に建て直し、見事再上場に導いたことでも知られます。

そんな名経営者・稲盛氏が、リーダーに「謙虚さ」を求めています。介護は「チームプレー」が要求されるわけで、常にリーダーが襟を正し、調和のとれたチームを創ることでよいサービスを提供できるのだということを、肝に銘じたいと思います。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>